



記念館だより

2025年4月

「はじめの一步 次への一步」

増淵 順

♪はじめの一步(いっぽ) あしたに一步
今日から 何もかもが 新しい
はじめの一步 あしたに一步
勇気を持って大きく 一步 歩き出せ♪

(「はじめのいっぽ」)

作詞:新沢としひこ 作曲:中川ひろたか)

先日読んだ、不登校の子どもたちの支援をしている方の記事の中に、「こころの拠り所」という言葉がありました。これは「ほっとできる場」ということと同義だそうで、何かとストレスの多い現代社会において、その重要性が見直されているとのことでした。そしてそこには、いくつかの重要なポイントがあるそうです。

- ① 自分を認めてもらえる
- ② 自分を理解してくれる
- ③ 自分を理解しようとしてくれる
- ④ 失敗を受け止めてもらえる

中でも、私は④の持つ意味が非常に大きいのではと思います。学童クラブや児童館を例として、考えてみました。

以前担当していた児童館での出来事です。その館には体育室があり、サッカーやドッジボールなど、みんな熱心に練習していました。そんなある日、普段はあまり体育室に来

ないAちゃんが、体育室の入り口から中の様子を覗いています。私が、「中に入って一緒にやろうよ」と誘ったのですが、「入りたいけど……やっぱりいい」結局、Aちゃんはその遊びには入りませんでした。

後から、改めて話を聴いてみると「他のみんなは上手いのに、私(Aちゃん)が入って失敗したら悪いから……」とのこと。Aちゃんはみんなを思う優しいお友だちでした。すると、その話を聴いていた上級生から「なあ～んだ」と以外な言葉が。そして「失敗してもいいんだよ！俺たちがカバーするから」といってくれました。この上級生の言葉に安心したのか、Aちゃんはみんなの輪の中に入ってきました。

このエピソードを思い出しながら、当初は「④失敗を受け止めてもらえる」の例としましたが、改めて考えてみると前述のポイントが全て入っていることに気がつきました。

児童館や学童クラブでは、異年齢間活動は大きな柱の一つです。相互の関わり合いを促しながら、「相手を思う優しさ」を伝え合い、楽しい時もそうでない時も、みんなで次へのいっぽを踏み出せるような「こころの拠り所」の一つとなるよう、保護者の方と一緒に歩いていくことができると願っております。今年度どうぞ宜しくお願いいたします。

本所賀川記念館児童クラブ(児童厚生施設)

2025年4月1日(火)発行

〒130-0005 東京都墨田区東駒形 4-6-2 一般財団法人本所賀川記念館 TEL03-3622-7811

学童クラブ

3月は、2024年度最後の遠足でした。千葉市にある現代産業科学館に行ってきました。前日からウキウキのこどもたち！「おやつなに持ってく？」「もう遠足の準備した？」など弾んだ声が聞こえてきていました。

当日は、天候にも恵まれ暖かい気温の中で遠足スタート☆最初は、班行動をしましたが2年生がリーダーになって班を引っ張ってくれました。3年生以上は、リーダーのフォローをしてくれて、1年生はリーダーの話すことに耳を傾けて。みんなで力を合わせてクイズの問題に挑戦していました。

お昼ご飯を食べた後は、お待ちかねの自由行動！巨大なシャボン玉を作ったり、ロケットを飛ばしたり科学の力を使ってめいっぱい楽しんでいるこどもたちと過ごせて、すてきな1日になりました。(内野)

2025年度本所賀川記念館職員紹介

【本所賀川記念館学童クラブ】

【横川小学童クラブ】

【業平小学童クラブ】

【横川三丁目学童クラブ】

【本所賀川記念館法人事務局】

記念館トピック

【賀川研究会】

〈賀川豊彦「女性論」とその周辺〉
—キリスト教倫理の立場から—
金子啓一 著

『賀川豊彦研究』第14号

2025年4月24日(木)
19:00~20:00

どなたでもご参加いただけます。
ご興味のある方はぜひ3階まで♪

コスモス食堂



毎月好評のコスモス食堂♪2025年度も行っていきます！今年度は5月17日(土)からスタート☆大人の方のお手伝いも大歓迎しております！おたのしみに！※詳細は別途チラシにて

ピアノ教室



毎週月曜日

講師：石坂 友美先生

保育園から小学校高学年のお友だちまで、それぞれ目標を設けてピアノの練習を楽しんでいます♪